



Access

JR「秋葉原駅」電気街口徒歩1分  
 東京メトロ銀座線「末広町駅」1番出口徒歩3分  
 東京メトロ日比谷線「秋葉原駅」3番出口徒歩4分  
 つくばエクスプレス「秋葉原駅」A1出口徒歩3分

BCPとは

大地震等の自然災害、感染症のまん延、テロ等の事件、大事故、サプライチェーン（供給網）の途絶、突発的な経営環境の変化など不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画のことを事業継続計画（Business Continuity Plan、BCP）と呼ぶ。（内閣府 事業継続ガイドライン 平成25年8月改定版より抜粋）

Contents

基調講演 13:00～

BCPを単なる「文書」とどめず、意義のある「活動」に！

ニュートン・コンサルティング株式会社  
 代表取締役社長 副島 一也氏

BCPの普及は進んでいると言われてはいますが、しかしながらその実態は、「文書を作成した」という状況に留まっていることが多く見られます。BCPの目的は「命を守り、事業を継続する」。そしてまた、それは単に危機発生時の保険としてのコストではなく、平時から組織の一体感を高め社外からの信頼を高め、企業価値を高める非常に有効な活動です。このたびの講演では、どのように取り組めばそうした価値ある活動となるのか徹底解説していきます。

事例発表1 13:50～

豊田通商が取り組む事業継続マネジメント  
 トヨタグループの商社として

豊田通商株式会社  
 総務部 減災・BCM推進室 藤本 博久氏

国内外160の事業を持つ豊田通商のBCPがグローバル展開に成功した鍵をご紹介します。徹底した三現主義（現地・現物・現実）に基づき、東アジアと米州（北中南米）の各国の子会社を訪問し、BCPを策定。現在もその後の運用と改善を継続的に推進しています。世界各地にまたがる子会社は、金属加工業から、マグロの養殖、リサイクル事業やパン工場など多岐に渡る業種と、従業員は20名～1500名までと幅広い企業規模であり、策定時は幾多の困難に見舞われました。加えて、有事には、BCPが機能したのか、実際はどうだったのか、各地の事例を振り返ります。

事例発表2 15:30～

印刷会社として、そして印刷業界としての事業継続への取り組み  
 東京の地場産業・印刷業界を止めない

池田印刷株式会社  
 代表取締役社長 池田 幸寛氏

東京都の地場産業である印刷業を担う企業の代表取締役として個社の事業継続の活動に取り組むとともに、中小印刷会社の全国団体である全国印刷工業組合連合会（全印工連）の常務理事として業界全体の底上げにも力を注いでいます。事例発表では、なぜ池田印刷にBCPの取り組みが必要であったのか、そして活動を始めてから達成できたことと課題を発表させていただきます。あわせて、全印工連としての印刷業界全体のBCPの活動についてもご紹介致します。

切り取らずにFAXしてください

FAX送信先 **03-3251-7888**  
 BCP策定推進フォーラム2016 参加申込書

会社名

所在地

資本金

千円

業種

従業員数

名

TEL

E-mail

参加者

氏名

部署/役職

氏名

部署/役職

※事例発表企業にBCPに関するご質問があればご記入ください。 例) BCPを策定する際に工夫したことは？

事例発表企業に対する質問①豊田通商株式会社

事例発表企業に対する質問②池田印刷株式会社